

2022年7月29日

各位

株式会社三井住友銀行

ギークス株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ギークス株式会社（代表取締役 CEO：曾根原 稔人）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

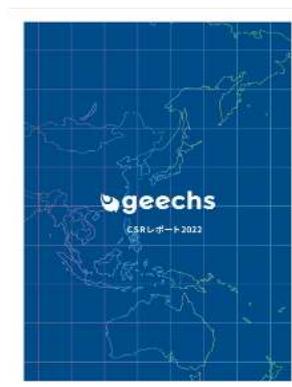
今回のギークス株式会社に対する評価結果は、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」「サステナビリティ・マネジメント」「従業員への配慮」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① IT人材不足という社会的課題に向けて、ITフリーランスという働き方の選択肢の提供や、IT人材の育成に向けて取り組むとして、経営トップが事業を通じて社会的課題に取り組む姿勢を明確にしている。
- ② マテリアリティとして「技術リソースのシェアリングでIT人材不足を解決」「フリーランスが安心して働ける社会・環境の整備」「次世代で活躍できる人材を育成」「コーポレート・ガバナンスの強化」「パートナーシップ」の5つを掲げ、ESGステートメントを策定するなど、サステナビリティに向けた組織としての取り組み方針を明文化している。
- ③ 従業員の健康促進や、ワークライフバランスの取り組みを進めており、リモートワークにかかる費用の一部を会社が支給する「リモサポ手当」や、出産・子育て中の従業員をサポートする制度として「ファミサポ」などを運用。時間外労働の削減に向けて、経営会議での週次勤怠状況確認や上司との1on1ミーティング、月次でのエンゲージメント測定等を行っている。

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標8：働きがいも経済成長も」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



曾根原稔人（ギークス株式会社 代表取締役 CEO）
「この度は当社の ESG 経営ならびに SDGs 達成への取り組みをご評価いただき、ありがとうございます。持続可能な社会の実現と継続的な企業価値の向上を目指し、ESG 経営を推進してまいりました。今後も、企業の社会的責任を果たすべく、ギークスグループの成長を加速させていく所存です。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。」

CSR レポート
「2022 年 5 月に発行した、
当社初の CSR レポート」

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上